

ごみ総合対策課の事業見直し予定一覧（令和 3 年度以降）

No.	事務事業名	事務事業概要・見直しの内容等
1	集団回収事業 [令和 2 年度当初予算額] 34,823 千円	○資源の有効活用、ごみ減量及びごみ問題に対する市民の関心を高めるため、市内の住民団体等による集団回収事業に対して支援を行う事業。 ○新型コロナウイルス感染症の拡大により市税の大幅な減収が見込まれ、事業の見直しが必要となるため、補助金額単価と団体事務費を見直す。 ※資料 2 を参照
2	朝一番隊 [令和 2 年度当初予算額] 2,675 千円 [有償ボランティア単価] 1,500 円/回(世話人) 1,000 円/回(一般)	○吉祥寺、三鷹、武蔵境の三駅周辺について、毎週日曜日の早朝に、市民の有償ボランティアによる清掃活動を実施している。現在は新型コロナウイルス感染症対策のため、活動を中止している。 ○新型コロナウイルス感染症の拡大により市税の大幅な減収が見込まれるため、事業の見直しが必要となる。地域・商店街の自主的ボランティア清掃等によってまちの散乱ごみが減ってきていることもあり、今年度をもって廃止の方向とする。 【代替事業】 駅前周辺清掃委託、マナー推進員
3	市内一斉清掃 (ごみゼロデー・ 市内全域一斉清掃) [令和 2 年度当初予算額] 1,133 千円	○ごみの散乱防止・地域環境美化の意識の普及・高揚を図ることを目的として、市民・事業者を集めて行うボランティア清掃。新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止とした。 ○地域・商店街の自主的ボランティア清掃等によって年々回収ごみ量が減少していること、参加者が減少していること、多数の職員動員が必要であること等から、今年度をもって廃止の方向とする。 【代替事業】 駅前周辺清掃委託、マナー推進員、環境啓発事業
4	家庭から出る土・油の 拠点回収資源化事業 [令和 2 年度当初予算額] 1,562 千円 [廃食用油売払い見込額] 約 3,000 円 (約 1,000L× 3 円/L)	○家庭で不要になった、園芸用の土と廃食用油(植物性)を無料で回収。2 か月に 1 回、市内のコミュニティセンターや市役所庁舎において実施。新型コロナウイルス感染症対策のため、緊急事態宣言期間中は中止とし、現在は再開している。 ○新型コロナウイルス感染症の拡大により市税の大幅な減収が見込まれ、事業の見直しが必要となる。 ○既存の土回収資源化事業者・油回収資源化事業者がどちらも今年度限りで撤退し、それに代わる事業者が無い。また都内で土の無料回収を実施している自治体は他にほとんどない(市部では 0)。油についても都内市部で他に実施している自治体が少なく(7 市、集団回収 2 市)、また土の回収と同日に開催することで受付等を効率的に行っていたため、今年度をもって廃止の方向とする。 【代替】 土…民間回収業者を紹介 油…市内 2 カ所の民間回収場所を案内、イベント(環境フェスタ)時に民間事業者が回収
5	武蔵野市ごみアプリ [令和 2 年度当初予算額] なし(むさしの E サービスが契約・負担)	○ごみの分別方法や収集日の確認、環境イベントの情報発信などの機能を持つスマホ用アプリ。 ○秘書広報課が 11 月中旬に導入する「武蔵野市公式 LINE」に同様の機能を持たせる予定であるため、利用者に移行するよう案内した上で年度末をもって廃止の方向とする。 【代替事業】 武蔵野市公式 LINE